

ENEOS海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2024年8月23日

工学部・工学研究科[○]修士課程（どちらか○で囲む）

所属学科・専攻・回生 物質エネルギー化学学科・専攻2回生

氏 名 塩川 拓実

1. 参加期間 2024年8月11日から 2024年8月16日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

カナダ・トロント州立大学・20th International Symposium on Novel Aromatic
Compounds (ISNA-20)

3. 発表成果（概要）

「Studies on the Analogies and Differences between a Cross-Conjugated
 γ -Thiolactone and Pentafulvalene in Their Reduced States」という題目で、有機エレクトロニクス材料の電子受容性ユニットとして近年活発に研究されているチエノキノイド類に焦点を当て、その高い電子受容性の起源とされる還元状態での芳香族性について実験と理論の両面から行った定量的な考察について、ポスター発表を行った。
さまざまな国の研究者と議論をすることができ、今後の研究展開に有益なアドバイスを
得ることができた。また、講演や他の研究者のポスターを積極的に聴講したことで自身
の研究分野における最新の研究成果を知るとともに、新たな研究のアイデアを得ること
ができ、非常に有意義な機会だった。

4. 奨学金の使途

参加登録費、宿泊費、移動費の一部に充てた。